

令和6年9月27日

教育委員会第9回定例会記録

石巻市教育委員会

教育委員会第9回定例会記録

◇開会年月日 令和6年9月27日（金曜日） 午後 2時30分開会

午後 3時35分閉会

◇開催の場所 本庁舎4階 庁議室

◇出席委員等 5名

教 育 長	宍 戸 健 悦
委 員 (教育長職務代理者)	今 泉 良 正
委 員	梶 谷 美 智 子
委 員	大 和 千 恵
委 員	依 田 晴 美

◇出席職員	事務局長	富 澤 成 久
	事務局次長	今 野 良 司
	事務局次長（教育・文化芸術振興担当）	工 藤 聖 子
	学力向上推進監	仲 上 浩 一
	教育総務課長	赤 坂 将 人
	学校再編推進室長	星 憲
	学校教育課長	福 田 光 一
	学校安全推進課長	佐々木 伸
	学校管理課長	土 田 順 平
	生涯学習課長兼博物館長	高 橋 秀 和

◇書 記	教育総務課長補佐	成 澤 和 彦
	教育総務課総務係長	平 塚 悦 子
	教育総務課主査	黒 澤 由 紀 子

◇付議事件

一般事務報告

- ・教育長報告

報告事項

- ・報告第11号 専決処分の報告について
専決第8号 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
専決第9号 石巻市博物館協議会条例の一部を改正する条例
専決第10号 令和6年度石巻市一般会計補正予算（第2号）
(教育委員会の事務に係る部分)

審議事項

- ・第31号議案 石巻市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則

※追加議案

その他

午後 2時30分開会

○**宍戸健悦教育長** それでは、ただいまから令和6年第9回定例会を開会いたします。

本日の会議ですが、欠席委員はおりません。

会議署名委員の指名

○**宍戸健悦教育長** それでは、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は今泉委員にお願いいたします。

よろしく申し上げます。

教育長報告

○**宍戸健悦教育長** それでは、本日の案件に入ります。

本日の案件は、一般事務報告が1件、報告事項が1件、その他となっております。

それでは、一般事務報告に入ります。

初めに、私から報告をいたします。

2学期になったものの、今年も大変暑い日が続きましたが、下旬になり、台風とともに急に秋らしい今日になってまいりました。しかし、能登半島では、9月21日、22日にかけて、23の河川が氾濫し大きな水害が発生しました。正月の大地震被害から立ち直る復旧途上の災害であり、改めて自然災害の恐ろしさと非情さを思い知らされました。近隣でも、7月に最上川が氾濫し、戸沢村など周辺に大きな被害をもたらし、記憶に新しい方も多いと思います。日中において予測できない急激な豪雨だったことは、学校関係者にとって重大な課題としてとらえました。東北大学災害科学国際研究所の先生方の御指導を受け、早速稲井小学校において登校後に真野川が氾濫したことを想定した避難訓練を行い、今月、市の防災主任研修会で検証し情報共有を行いました。備えの重要性と、防災教育の大切さをみんなで考えていきたいと思っております。

次に、今月の学校の状況について報告をいたします。大きな行事では、修学旅行が小学校で13校、中学校で5校が予定どおり実施し、10月以降には小学校10校、中学校4校が予定しております。また、宿泊研修は小学校9校、中学校3校が計画しております。学芸会や学習発表会、中学校の文化祭は、10月に予定しているところでございます。中学校の中体連新人大会は、今週の土日の28日、29日に行われる予定です。2学期は大きな行事も多く、充実した教育活動が展開されることを期待しているところでございます。

次に、市議会第3回定例会は9月5日から開催され、昨日閉会いたしました。内容につきましては、令和5年度の決算の承認と、条例案、補正予算などでありました。私からは、環境教育委員会での質疑内容並びに一般質問の内容について報告をいたします。初めに、令和5年度決算について質疑があり、教育指導奨励費では、学びサポートセンター事業費では当該センターにおける相談状況及び通所への対応について質疑があり、相談があったものは全て受け付けており、センターに通いたい児童生徒に対しては、実際の体験を通してから通所するか決めてもらう仕組みである旨答弁をいたしました。次に学校建設費では、これまでの学校施設改修事業等の実績及び今後の学校施設整備保全計画について質疑があり、令和3年度から事業を開始し改修工事の実績としては、校舎が石巻中学校の1件、屋内運動場が石巻中学校の1件、改修工事の実績としてはプールが前谷地小学校の1件であり、今後は蛇田中学校校舎の改修事業並

びに須江小学校及び前谷地小学校の屋内運動場の改築に向けて取り組んでいる旨答弁をいたしました。次に学校管理費の部活動指導員配置支援事業費では、令和5年度に6校8部に配置された部活動指導員は、どのような方々かとの質疑があり、地域に住む自営業の方や退職されて時間が自由に使える方など、基本的にこれまで各学校で外部コーチをされていた方を採用している旨答弁しました。次に、文化財保護費のみちのくゴールド浪漫普及啓発事業費では、多言語対応案内版の設置目的について質疑があり、みちのくゴールド浪漫を観光分野でも活用し、外から人を呼び込むことが重要であるため設置したものであり、産業部と連携して対応していきたい旨、答弁をいたしました。9月26日の本会議で、令和5年度一般会計特別会計の決算は承認され、条例、補正予算等も可決されました。次に、19日から行われました一般質問は20名から通告があり、教育関係は主に5名からありましたので、内容について申し上げます。気温上昇により、今後の水泳やプール等の在り方をどのように考えているかにつきましては、5月末から前倒して行い授業時数の確保をしている。市の地域事情に見合う効率的な学校プール施設運営の在り方について検討していくと答弁をいたしました。本市における不登校児童の増加に対する対応については、昨年度、石巻市学びサポートセンター「コイル」を設置し、不登校児童生徒とその保護者への支援を行っており、今年度は昨年度以上の利用者がおり、今後は指導員の増員やサテライト教室の開設に向けて検討を進めている。また、フリースクールとの連携を強化して、学校以外で学ぶことができる環境整備と、子どもたちが行きたくなる学校づくりを目指し、授業改善や人間関係づくりに取り組んでいる旨、答弁をいたしました。次に、子どもの体力向上プランの進捗状況と課題についてであります。体のつくりと生活習慣の関連を調べるために、昨年度は市内の小学校10校、1,083名、今年度は小学校9校、959名の子どもの筋肉量と運動機能を測定しました。このデータを基に、個々に応じた運動プログラムを提供する予定であり、AIスマートコーチという運動解析アプリの活用を予定している旨、答弁をいたしました。石巻市立小・中学校学区再編計画の進捗状況について質疑があり、昨年、荻浜地区の学区再編は終了し、来年には桃生地区3小学校の統合が決まっており、統合準備を進めている。また、その他の地区においても、検討対象校において、学校やPTA、学校運営協議会等に対し、今後の児童生徒数の推移等を示しながら意見交換を行い、再編への理解と意識の醸成を図っている旨、答弁をいたしました。次に、何を最優先に学区再編計画を進めているのかという質疑に対して、子どもたちの安全安心な教育環境の確保と、さらなる教育の充実を最優先に考えながら、市内小中学校の適正規模と適正配置を目指していく。また、学校は地域に支えられ、地域に生まれ発展してきたものであり、それぞれの地域の実情も考慮しつつ、合意形成を図りながら進めていく旨、答弁をいたしました。次に、人口減少時代の文化芸術の推進について質問があり、文化芸術は、一人一人の心と生活にゆとりと潤いをもたらし、人となりの相互理解や心のつながりを深めるだけでなく、市民の郷土に対する愛着や誇りの醸成に資するなど、心豊かな地域社会の形成に欠かせないものと認識している。石巻市文化芸術振興基本方針の改定を早急に進める旨、答弁をいたしました。石巻市文化協会の現状と課題について質疑があり、現在125団体、2,322名に減少している。高齢化に伴う後継者不足、コロナ禍による活動制限等が要因となる。会員の増加、若い世代の確保のほか、組織力の強化が必要である。運営に係る補助金の交付と事業支援、事務局移転への支援などを行っている旨答弁を

いたしました。以上が主な内容でありました。

これで私からの報告を終わります。

皆さんから御質問ございませんか。

(「なし」との声あり。)

報告第11号 専決処分の報告について

専決第8号 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

○**穴戸健悦教育長** なければ次に、報告事項に入ります。報告第11号「専決処分の報告について」の専決第8号「石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例」についての報告を受けたいと思います。

教育総務課長から説明をお願いします。

○**赤坂将人教育総務課長** それでは、報告第11号「専決処分の報告について」の専決第8号「石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例」について御説明申し上げます。

本報告につきましては、令和6年石巻市議会第3回定例会に提案するため石巻市長から教育委員会に本案に対する意見を求められましたが、教育委員会を開催する時間的余裕がありませんでしたので、石巻市教育委員会教育長事務委任等に関する規則第3条第1項の規定により、8月29日付けで異議のない旨、専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

本案は、令和6年石巻市教育委員会第7回定例会で議決頂きました住吉幼稚園の廃止についての条例になります。

それでは、改正内容について条文に従いまして御説明申し上げますので、表紙番号1の1ページから4ページ、あわせて、表紙番号2の1ページを御覧願います。初めに、第2条の表から石巻市立住吉幼稚園の項を削るものであります。次に、附則であります、本条例の施行期日を令和7年4月1日とするものであります。

以上で報告を終わります。

○**穴戸健悦教育長** それでは、ただいまの説明に対して御質問等ございませんか。

(「なし」との声あり。)

報告第11号 専決処分の報告について

専決第9号 石巻市博物館協議会条例の一部を改正する条例

○**穴戸健悦教育長** それでは、なければ次に、報告第11号「専決処分の報告について」の専決第9号「石巻市博物館協議会条例の一部を改正する条例」についての報告を受けたいと思います。

博物館長から説明をお願いします。

○**高橋秀和生涯学習課長兼博物館長** それでは、「石巻市博物館協議会条例の一部を改正する条例」について御説明申し上げます。

表紙番号1の5ページを御覧願います。本件につきましては、令和6年石巻市教育委員会第7回定例会で御協議の上、議決を経て、議会に提案したものでございます。

本件につきましては、石巻市博物館が登録博物館ではないということから、博物館法23条1項の規定に基づき設置するとしていた協議会を任意設置としたほか、同協議会の諮問者会議

の招集者を改めるため条例の一部を改正したものでございます。第1条につきましては、博物館の運営に関しまして、諮問するものを博物館長から教育長に改め、文言の整理を行ってございます。次に、附則第2項につきましては、委員が委嘱された後、最初に招集すべき会議の招集者を博物館長から教育長に改めたものでございます。次に附則ですが、本条例の施行期日を令和6年10月1日としたものでございます。

以上で報告を終わります。

○宍戸健悦教育長 それでは、ただいまの説明に対して御質問ございませんか。

(「なし」との声あり。)

報告第11号 専決処分の報告について

専決第10号 令和6年度石巻市一般会計補正予算(第2号)

(教育委員会の事務に係る部分)

○宍戸健悦教育長 それでは、なければ次に、報告第11号「専決処分の報告について」の専決第10号「令和6年度石巻市一般会計補正予算(第2号)(教育委員会の事務に係る部分)」についての報告を受けたいと思います。

教育総務課長から説明をお願いします。

○赤坂将人教育総務課長 それでは、報告第11号「専決処分の報告について」のうち、専決第10号「令和6年度石巻市一般会計補正予算(第2号)(教育委員会の事務に係る部分)」について御説明申し上げます。

本報告につきましては、令和6年石巻市議会第3回定例会に提案するため、石巻市長から教育委員会に本案に対する意見を求められましたが、教育委員会を開催する時間的余裕がなく、教育委員会教育長事務委任等に関する規則第3条第1項の規定により、8月29日付けで、異議ない旨専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

それでは、別冊1ページから3ページを御覧願います。歳入歳出予算ともに、補正前の額から、1,083万円を増額し、96億1,810万9千円となっております。なお、10款には教育委員会の事務にかかる部分のほか、人事課の所管する人件費及びスポーツ振興課が所管するスポーツに関する予算が含まれております。10款のうち、教育委員会の事務に関する部分の予算につきましては、歳入歳出予算ともに、補正前の額から760万円を増額し、73億3,155万1千円となっております。

歳入歳出に係る説明に関しまして、教育委員会の事務に関する予算についてのみ、御説明させていただきます。

初めに歳出から御説明申し上げます。2ページをお開きください。10款1項教育総務費は760万円の増額になっております。内容を御説明いたしますので、6ページをお開き願います。10款教育費、1項教育総務費、3目教育指導奨励費の説明欄1の特別支援教育事業費に760万円を計上しておりますが、これは医療的ケア対象児童の追加に伴う訪問看護委託料に係る経費を措置したものでございます。2ページにお戻り願います。10款7項保健体育費は323万円の増額になっておりますが、こちらは、スポーツ振興課の所管する予算に関する補正のため、説明は省略させていただきます。

次に歳入について御説明いたします。1ページをお開きください。15款県支出金は141

万1千円を増額措置しております。内容といたしましては、4ページ、15款2項県補助金、8目教育費県補助金、1節教育総務費補助金の説明欄、教育支援体制整備事業費補助金に14万1千円を計上しており、これは歳出で御説明いたしました特別支援教育事業に対する県支出金を措置したものでございます。

以上で報告を終わります。

○宍戸健悦教育長 それでは、ただいまの説明に対して御質問等ございませんか。

(「なし」との声あり。)

日程追加について

○宍戸健悦教育長 それではここで委員の皆様にお諮りいたします。

本日の議事日程、審議事項として、第31号議案「石巻市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則」を追加したい旨、事務局から申し出がありましたので、石巻市教育委員会会議規則第11条規定により、議事日程に追加することとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり。)

○宍戸健悦教育長 異議がありませんので、第31号議案「石巻市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則」を、日程に追加いたします。

第31号議案 石巻市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則

○宍戸健悦教育長 それでは、第31号議案「石巻市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則」を議題といたします。

博物館長から説明をお願いします。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長 ただいま上程されました第31号議案「石巻市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則」について御説明申し上げますので、表紙番号3の1ページ、併せまして、表紙番号4、規則新旧対照表(追加)の1ページを御覧願います。

本案につきましては、先ほど専決第9号で御報告申し上げましたとおり、石巻市博物館が博物館法第2条第1項に規定する宮城県教育委員会の登録を受けていないことから、博物館法23条第1項の規定に基づき設置することとしている博物館協議会を任意設置とするほか、同協議会への諮問者会議の招集者を改めるため、石巻市博物館条例の一部を改正したところであり、本条例の一部改正に伴いまして、石巻市教育委員会の組織等に関する規則につきましても、同様に博物館協議会の担当事務の一部を改正するものでございます。附則ですが、本規則の施行期日を令和6年10月1日とするものでございます。

以上でございます。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○宍戸健悦教育長 それでは、ただいまの説明に対して御質問等ございませんか。

(「なし」との声あり。)

○宍戸健悦教育長 ないようでしたら、第31号議案「石巻市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則」は、原案のとおり決することとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり。)

○宍戸健悦教育長 異議がありませんので、第31号議案については原案のとおり可決いたします。

その他

○**中央戸健悦教育長** それでは、審議事項を終了し、その他に入ります。

初めに委員の皆さんからごさいませんでしょうか。

梶谷委員さん。

○**梶谷美智子委員** 先日の新聞に不登校児童生徒が増えているという現状と校内教育支援センターの記事が出ておりました。文科省では、今後校内教育支援センターの拡充を図っていくということで、予算的な措置もとられるようです。市内全小中学校に校内教育支援センターを設けているという自治体もあるようです。石巻市の現状を教えてくださいと思います。

○**中央戸健悦教育長** 学校教育課長。

○**福田光一学校教育課長** 今のところ学校の中に教育支援センターを設けているところはありません。今年、加配を頂いて石巻中学校に学び支援教室を設置しております。

学校への設置には至っておりませんが、コイルで学校へ訪問し、別室対応するという機能がありますので、そこを活用して別室登校の生徒には指導を行っているところです。ただ、コイルの通所人数が多くなり、今年はアウトリーチ型の支援ができていないところです。各学校でも人数が多く、4人5人になったときに申請を出すような状況です。来年度は指導医の数を増やし、アウトリーチ型も充実させていきたいと思っています。

○**中央戸健悦教育長** 梶谷委員。

○**梶谷美智子委員** 学校へは登校できるが、クラスに入れられないというお子さんにとって、校内に教育支援センターというような居場所があることは非常に大事なことだと思いますし、設置しているところの情報を見ると、クラスに入れるようになったというように、その効果は明白なようです。人的な問題等いろいろあるかとは思いますが、そのような方向に石巻市もなっほしいと思っています。

また、コイルが手狭で利用者が多くなる一方、指導する人員が少ないといった課題も聞いております。場所的な問題があるのでしたら、住吉幼稚園が閉園になるので、使わなくなる公的な施設をコイルの分館のような形で活用することはできないのでしょうか。

併せて、住吉幼稚園の閉園後の活用ということで一つ考えていることをお話してよろしいでしょうか。子どもたちの読書活動については、この教育委員会でも何度かお話しに上がりました。住吉幼稚園の施設は大変いい施設です。その施設を利用して、幼児期の子どもたちを中心とした「幼児期子どもたち向けの図書館」というような、図書施設として利用できないかと自分の考えとして持っていました。毎日、開館するのは大変なので、週に2日でも3日でも、幼児を対象とした図書がたくさんある施設、図書館の分館のような形で開設できたら利用していただけるのではないかと思います。幼児期から読書に親しむことは、すごく大事なことと言われています。もし、できるのであれば、活用の一つとして参考にさせていただきたいと思い、自分の考えを述べさせていただきました。

○**中央戸健悦教育長** 学校教育課長。

○**福田光一学校教育課長** コイルの分室については、住吉幼稚園も候補地の一つとして考えていました。これから通う子どもたちの学区や状況を見て検討していきたいと思っています。

幼児向けの施設については、とても素敵なアイデアだと思います。そのような施設があると

保護者も含めて集まれると思います。子ども保育課で、児童館をつくるような話も出ていますし、移動の児童館を開設しているという取組もありますので、連携していきたいと思います。

○梶谷美智子委員 住吉幼稚園のすぐ近くの合庁跡地が、公園のような形になるとお聞きしました。もし、幼児向けの図書館のようなものがあって、すぐ近くに公園があると、とてもいいと思ったのでぜひ検討していただきたいです。

○宍戸健悦教育長 教育委員会としても幼児教育の拡充に向けて、住吉幼稚園の跡地の利活用について検討できればと思います。

ほかにございませんか。

依田委員。

○依田晴美委員 11月に入ると就学時健診も始まるので、健康診断について御質問させていただきます。今、視力検査でどのような検査をしているのかを教えてください。例えば、決まった検査項目があったとしても、市独自で項目を増やしたりすることができるのかをお聞きしたいです。先日、小学校5年生の男の子を教えていた時に、テキストに書いてあるルビが見えないと言っていました。写し間違えたりすることもあります。でも、視力はAだと言っていました。それで、普通の視力検査だけなのか、遠視の検査等もしているのかを聞きたいと思いました。

○宍戸健悦教育長 教育総務課長。

○赤坂将人教育総務課長 就学時健診が11月から12月まで予定をしております。視力検査の項目につきまして、今、資料を持ち合わせておりませんので、担当に確認して御返答したいと思います。

○宍戸健悦教育長 学力向上推進監。

○仲上浩一学力向上推進監 担当外ですが、今、健康診断表等の点検をしているので、その立場からお話ししますと、学校で行っているのは通常の視力検査のみになります。1.0がA、0.7がB、0.3がCとなります。そのほか、眼科健診がありますので、眼科のお医者さんの診断結果を家庭に連絡する仕組みになっています。異常があった場合は、家庭に連絡をして、それぞれの御家庭で病院に行ってください、その結果を学校に戻すという仕組みになっております。

○依田晴美委員 子どもたちは、見えないということが分からないのだと思います。周りから指摘しなければならぬと思っていますので、先生方や、低学年のクラスには支援員の方たちがいらっしゃると思うので、いろいろな方から御意見を伺って、必要な検査をしていただくと幸いです。

○宍戸健悦教育長 日常の様子を学校も家庭も見ながらフォローしていきたいと思います。また、タブレットやスマホ等々も含めて、視力は低下傾向にあると言われておりますので、気をつけていけるように、折に触れて話題にしていきたいと思います。

そのほかにございませんか。

今泉委員。

○今泉良正委員 石巻市の男女共同参画基本計画の進捗状況に関する答申が行われましたが、その中で課題になったのが、審議会委員会等への女性登用のことです。これは教育委員会にも

関りがあると思います。教育委員会内で目標値をクリアしている委員会等もありますが、まだ下回っている委員会もあります。組織的に難しいところもあるとは思いますが、これに関しては、これから認識を変えていかなければならないと思ってお話をさせていただきました。

一つ質問です。今年から石巻市でコミュニティ・スクールが全校になりましたが、この実践例について、今後どのような形でどうしていくのか教えていただきたいと思っています。

○宍戸健悦教育長 学校教育課長。

○福田光一学校教育課長 コミュニティ・スクールの実践例ですが、先日の環境教育委員会でも質問がありました。コミュニティ・スクールの学校運営協議会導入と、学校運営協議会での熟議について重点的に各学校の運営協議会に出席してレクチャーしてきました。初めにスタートした学校については実践的なことが動き始めていて、後から導入した学校との差が大きくなってきたという実情もあります。議員からも、取組事例をまとめたものを出してほしいと要望がありました。実際、各学校でいろいろな取り組みをしておりますが、任された地域コーディネーターが具体的にどのように動いたらいいのか、学校運営協議会に出席した方々がそれぞれの立場でどのように呼びかけをしたらいいのかというところが、資料があると良いのではないかという話がありました。今のところ、コミュニティ・スクールだよりのような形で、実際に行った取組を教育委員会から各運営協議会や、学校に発信して、それぞれの運営協議会に提示してもらえればと思っています。それを累積した形で実践例ができればいいと思っています。今、既に取り組んでいることを水平展開して、市内全体に広めたいと思っています。

和渕小学校でやっている和小子クラブを見学したいという運営協議会もありまして、そのように主体的に動いてくれることを目指して、例を発信していきたいと思っています。

○今泉良正委員 たよりということのようですが、いろいろな自治体でコミュニティ・スクールについて、ダウンロードできる形で上げているので、今後石巻市もそのような形であればいいなと思っています。千葉県はコミュニティ・スクールに関する資料がいろいろダウンロードできるようなので参考にさせていただければなと思います。

次に要望です。石巻は毎年フォーラムをやっており、全国的にも注目されております。毎年、マルホンまきあーとテラスの小ホールで行っておりますが、定員が100数十名ということで、石巻市内の先生方と住民に限られていると思います。ほかの自治体から行きたいという要望があるので、今後そのようなことも加味して、大ホールで行っていただきたいと思っています。ぜひ御検討頂ければなと思います。

○宍戸健悦教育長 学校教育課長。

○福田光一学校教育課長 フォーラム開催場所を検討していきたいと思っています。これまでコミュニティ・スクールを導入するためのフォーラムを行ってきたので、これからは石巻の取り組みをどんどん発信できるように、いろいろな方々に知っていただくためにも大きい場所も考えていきたいと思っています。

○宍戸健悦教育長 今お話があったように、今年度は18校が新たに加わって全学校になり、それぞれ学校の温度差や状況の違いが出ています。石巻市としてコミュニティ・スクールをどのように育てていきたいかという方向性を明確にしながら、石巻独自のコミュニティ・スクールの活用を模索し、発展させていかなければならないと思っています。

地域とともにある学校を標榜する我々としては、コミュニティ・スクール運営協議会への期待感は非常に大きいので、よろしく御指導頂きたいです。

ではほかにございせんか。

大和委員。

○大和千恵委員 11月の総合教育会議の開催についてのお知らせが資料の中に入っていて、協議事項で学力向上が上がっていました。毎回議題に上がることではありますが、家庭や子どもによって、すごく温度差があると感じています。例えば都市部であれば、教育に力を入れている御家庭が多いので、学力も上がっていくと思いますが、必ずしも学力向上に重きを置いていない場合、学力向上を目指していくことは、すごく難しいと感じるところがあります。子どもたちの基礎学力が上がり、分からないことが分かるようになるというのが増えていくことはすごく大事だと思います。基礎的な学力は勉強していくことで、将来につながっていくと思いますが、教育委員会の方々も学校の先生たちも、方策を考えて取り組まれている中で、学力向上を求めているところに対して働きかけ行うのは難しい部分だと感じていますがいかがですか。

○宍戸健悦教育長 学校教育課長。

○福田光一学校教育課長 学力についての私の持論も入ってしましますが、世の中の的には学力という全国学力・学習状況調査の点数というイメージがあると思います。教員としては、学力はいわゆる学ぶ力だと思っています。大和委員がおっしゃったように、分からなかったことが分かるようになったり、どのようにしたら自分は覚えやすいとか、世の中を生きていくため自分が成長するためにどのようにしたらいいのかを学ぶのが、いわゆる学力、学ぶ力だと思います。学校ではペーパーテストは一種の目標値であり、実際に子どもたちが成長したところを見とっていきましょうというような取り組みでやっています。

基本的な生活習慣について、これまで学校は、勉強させてくださいというような取り組みをしていました。しかし、最近、子どもが自分で自分をコントロールする力、時間をきちんと調整できるような力が必要ではないかと思うようになりました。家に帰ってから何時まで何をしたらタブレットで先生に伝えることができる時代になったので、自分で自立していくような取り組みをさせるべきかと思っています。

学力向上と基本的な生活習慣の育成については、学校として、子どもたちに基本的な生活習慣が身につくような取り組みを行っていくので、家庭できちんと見守り、支援していただく方向にしたいと思います。これまでは、たくさん課題・宿題を出し、家でやってきなさいという取り組みがメインでした。それを学校は子どもたちに力をつけさせるというところを重点的に考え、子どもたちが自分でやるような人に育ってくれるよう取り組みたいと思っています。それが点数に結びつかないかは、それぞれの力によるところだと思うので、点数に結びつかなくても、得意なところを評価できるような仕組みにしていきたいと思っています。

○宍戸健悦教育長 学力向上推進監。

○仲上浩一学力向上推進監 実際に今年度の全国学力・学習状況調査結果を見ると、いわゆる地域差、例えば都市部が明らかに高いとか、半島部や農村部が明らかに低いとか、そういう傾向は見られていません。ただ、小規模校と2クラス3クラス学年にある学校では、小規模校の

学校は良いも悪いも結果が顕著にでます。1人の割合が高いので、人数もフォローに入れて判断していかなければならないと思っています。

今私たちが学力をはかるときの観点としては、児童生徒の学習意欲の向上、それから学校の先生方の授業改善、この二つには多くの部分でタブレット等の利活用というが非常に関わってきます。そして1番大切な基本的な生活習慣です。学校の授業だけでなく、家庭や地域の協力は絶対的に不可欠だと思っています。

全国調査でも、学校への質問と、子どもたちの生活習慣に関する意識調査を行っていて、その結果を見ると点数的に学力で劣っているところは明らかに家庭での学習時間は少ないと思います。スマホやテレビゲーム等の使用率は高く、朝食を食べていない、決まった時間に寝起きしていないという生活習慣の部分が、全国値よりも下がっている学校は、学力的な数値も低いということです。例えば、朝食を食べてこない割合が、小学校だと7.2%で、石巻の子どもの数でいうと420人近くになります。中学校は10%なので、約300人です。何の理由で食べてこないかは調査しておりませんが、そういったところは家庭や地域の協力を得なければならないと思います。そういう相関関係の中で、みんなで高めていこうというところをアピールしながら連携をとっていけたらいいと思って施策を考えております。

○大和千恵委員 全国学力・学習状況調査の点数というよりは、学ぶことの大切さが子どもたちに伝わるといいと思っています。学力向上という言葉が出ると、点数を上げなければならないと感じてしまうので、何のために学力を向上するのか子どもたちの中で理解していると、前向きに学ぶことができると思います。子どもたちも親も、学ぶことの大切さ、それが将来にどう繋がっていくかというところを学校で伝えていけるといいと感じます。

○中央健悦教育長 保護者としての永遠の課題です。どこまでいっても十分と思えない部分もありますが、保護者の協力、支えは絶対的に必要だということです。

一昨年から、小学校の低学年から一人一人の面談をしながら、それぞれの子どもにとって何が必要かというのを協議しております。親だけでなく本人自身が自分でコントロールできる、それこそ学力の一つであり、大事だということです。

学力向上事業の中に、学力向上推進事業と学校わくわくプランを位置づけていて、非認知能力と言われる、意欲であるとか、頑張る力であるとか、目に見えない部分も人として支えていかなければならないというのを、学んで力強く生きていくという方向性を求めていきたいなと思います。これについては、いろいろな側面で意見があると思いますので、深めながら、今度、総合教育会議の中で議論したいと思いますので、よろしくをお願いします。

では、続いて各課長から何かございませんか。

博物館長。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長 教育委員会関連主な事業一覧を御覧頂きたいと思いません。

一つ目は、石巻市博物館第9回特別展関連企画講演会ということで「宮城ゆかりの彫刻家－佐藤忠良と高橋栄吉－」ということで、8月24日土曜日に宮城県美術館主任研究員の土生学芸員をお呼びして、佐藤忠良と高橋栄吉という宮城を代表する彫刻家の作品や人物像等々を資料から読み取り、二人の接点について触れるということで、講演会を開催してございます。4

7名の方にお越しを頂きました。実際のところ、佐藤忠良さんが宮城にいた時代が少なく、高橋栄吉との接点は今のところ資料から読み取れないという結果ではありましたが、今後研究をしていく中で、何らかの接点が出てきてほしいという内容でございました。

佐藤忠良展は今週日曜日が最終日となっております。今、大体2,900人の入館者という事です。これまでの最高が、昨年度の高砂淳二写真展の5,900人ですので、それに次ぐ来場者数になってございます。個人的にはもう少し来ていただいてもいいのかなというところもありましたが、そのような入場者数となっております。

二つ目です。石巻博物館講座「布施辰治と石巻」ということで、8月25日にマルホンまきあーとテラス大研修室で博物館の学芸員が講座を開催しました。今年度に関しては、これが2回目になります。布施辰治のふるさと石巻に対する思いや繋がりを寄贈されている資料の研究から読み取ったことを発表するという内容です。1階の常設展示室に、特別展「布施辰治と石巻」は8月14日から2月16日まで展示しております。

続きまして、石巻市博物館出前講座－石巻小学校－でございます。こちらは9月11日に石巻小学校に博物館の学芸員が出向き行いました。今年度初めて開催しました。基本的には市の出前講座で対応した部分もございしますが、まきあーとテラスの指定管理者の公益財団法人石巻市芸術文化振興財団と連携し、博物館を知ってもらい、石巻市の歴史を知ってもらうために、テーマを決めて開催しています。今回石巻小学校に関しましては「博物館のしごと」「高橋栄吉」に関する事で出前講座を行ってございます。6年生対象で42名の児童が講義を受けてございます。9月18日に大街道小学校で「石巻の湊と舟運」それから「川村孫兵衛と石巻」、11月に稲井小学校の4年生対象に「川村孫兵衛と石巻」ということで、講座を開催する予定としてございます。今の小学生は川村孫兵衛を知らないそうです。「誰ですか」という感じだったようで、このような機会を通じて知っていただき、博物館にも足を運んでもらえばいいということで開催したものでございます。

○**宍戸健悦教育長** 学校教育課長。

○**福田光一学校教育課長** 9月3日に第2次石巻市奨学生選考委員会が行われました。第2次は在学者対象で大学生2名からの応募があり、2名とも採用となっております。

○**宍戸健悦教育長** 生涯学習課長。

○**高橋秀和生涯学習課長兼博物館長** その他に配付しておるチラシということで御紹介をさせていただきます。

まず、石巻市美術展の紹介をさせていただきます。今年第39回目ということで定例的に開催している市美展が10月6日から10月14日まで、マルホンまきあーとテラスで開催されます。こちらに関しまして、今回石巻市(旧石巻)との友好姉妹都市の温州市の締結40周年記念といたしまして、市美展の1コーナーを設けました。温州市からの作品を出展するという事で準備をしてございます。市美展に関しましては、梶谷委員に実行委員長をやっていたいております。今回、開催の運びとなりましたので、ぜひぜひお越し頂ければと思います。入場は無料でございます。

次に、第1回石巻まきあーと寄席ということで二人会をマルホンまきあーとテラスの名誉館長でございます林家たい平師匠、春風亭昇太師匠をお招きしまして、11月17日日曜日14

時からマルホンまきあーとテラス大ホールで開催いたします。入場料金につきましては全席自由で前売りが一般3,500円、高校生以下2,500円、当日500円アップとなります。プレイガイドはマルホンまきあーとテラスと書いてありますが、生涯学習課でも扱ってございますので、もし御利用の方がいらっしゃいましたら、ぜひぜひ御購入頂き、足を運び頂ければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○**宍戸健悦教育長** そのほかありませんか。

(「なし」との声あり。)

○**宍戸健悦教育長** ないようでしたら、次回の定例会の日程についてお願いします。

○**成澤和彦教育総務課長補佐** 次回10月の定例会につきましては、10月21日月曜日午前10時30分から開催する予定です。場所につきましては、市役所4階庁議室で開催いたします。どうぞよろしく願いいたします。

○**宍戸健悦教育長** では、以上をもちまして本日の定例会を終了いたします。

ありがとうございました。

午後3時35分 閉会

教育長 宍戸 健悦

署名委員 今泉 良正